

Autodesk Fusion 360 の新しいクラウド クレジット付きサブスクリプションおよび アクセス ベースのクラウド クレジット サービスに関するよくある質問

目次

1. Autodesk Fusion 360 の消費型サービス	1
1.1 Fusion 360 の消費型サービスとは？	1
1.2 Fusion 360 の消費型サービスにはどんなタイプがありますか？	1
1.3 利用可能な Fusion 360 消費型サービスを教えてください。	1
1.4 Fusion 360 消費型サービスを有効にして実行するにはどうしたらよいですか？	1
1.5 各消費型サービスの有効化と実行に必要なクラウド クレジット数は？	2
2. オートデスクのクラウド クレジット	2
2.1 オートデスクのクラウド クレジットとは？	2
2.2 クラウド クレジットにはどんなタイプがありますか？	2
2.3 クラウド クレジットのタイプによって、どのような違いがありますか？	2
2.4 トークンとクラウド クレジットの違いは何ですか？	3
2.5 使用可能なクラウド クレジットの数はどこで確認できますか？	3
2.6 クラウド クレジットはどのように販売されますか？	3
2.7 ユーザー自身が Autodesk 公式ストアからクラウド クレジットを購入することは可能ですか？	3
2.8 クラウド クレジットの有効期限は？	3
3. Fusion 360 サブスクリプション サービス	4
3.1 現在利用可能な Fusion 360 サブスクリプション サービスは？	4
3.2 標準の Fusion 360 のサブスクリプション サービスに含まれるクラウド クレジット数は？	4
3.3 Fusion 360 の新しいクラウド クレジット付きサブスクリプションについて詳しく教えてください。	4
3.4 Fusion 360 の新しいクラウド クレジット付きサブスクリプションは Autodesk 公式ストアで購入できますか？	4
3.5 追加のクラウド クレジットを購入して、既存のサブスクリプション契約で利用することはできますか？	4
4. よくある質問	4
4.1 契約管理者は特定のユーザーにクラウド クレジットを割り当てられますか？	4
4.2 契約管理者は、どのユーザーがクラウド クレジットを消費しているか確認できますか？	4

1. Autodesk Fusion 360 の消費型サービス

1.1 Fusion 360 の消費型サービスとは？

Autodesk Fusion 360 は CAD、CAM、CAE が統合されたソフトウェアで、デザイン、設計および製造に必要な環境を単一のプラットフォームで実現しています。Fusion 360 を利用するには、1 ヶ月、年間、または複数年のサブスクリプション契約が必要です。サブスクリプションを購入すれば、強力な設計および製造機能に加えて、追加の消費型サービスも利用できます。これらの消費型サービスは、Fusion 360 の機能を拡張するものです。その機能が必要な場合にのみ料金を支払うという柔軟な利用が可能で、Fusion 360 以外に、あらかじめ別のサブスクリプションを購入する必要はありません。

1.2 Fusion 360 の消費型サービスにはどんなタイプがありますか？

消費型サービスには次の 2 つのタイプがあります。

- **タスク ベース**
タスク ベースの消費型サービスは、Fusion 360 商用サブスクリプションメンバー全員が必要に応じて利用できます。個々のユーザーが特定のタスクを利用する毎に消費するサービスです。
- **アクセス ベース**
アクセス ベースの消費型サービスは、Fusion 360 の拡張機能として提供され、ユーザーには一連の追加機能が提供されます。これらの拡張機能は 1 ヶ月単位で使用でき、この期間内であればユーザーは拡張機能に何度でもアクセスできます。

1.3 利用可能な Fusion 360 消費型サービスを教えてください。

Fusion 360 で使用可能な消費型サービスは以下のとおりです。

- **クラウド レンダリング – タスク ベース (現在利用可能)**
クラウドでのレンダリングでは、クラウドのほぼ無限の計算能力を活用して、フォトリアリスティックで高解像度の画像イメージを短時間で作成できます。
- **シミュレーション クラウド解析 – タスク ベース (現在利用可能)**
シミュレーション クラウド解析では、非線形静的解析、座屈解析、固有値解析といった追加のスタディ タイプを実行できます。また、時間のかかる複雑な問題をローカル PC のリソースを消費せずに解決できます。
- **ジェネレーティブ デザイン – タスク ベース (現在商用版で利用可能)**
Fusion 360 のジェネレーティブ デザインとは、現実の製造要件と製品性能の要求仕様を基に、CAD でそのまま利用できる設計形状の候補を何通りも同時に生成することで、ユーザーが革新的なデザインを実現できるようにするためのテクノロジーです。
- **Manufacturing Extension – アクセス ベース (現在テクニカルプレビュー中、2019 年上半期より提供予定)**
Fusion 360 の Manufacturing Extension には、製造のプロフェッショナル向けの生産性向上ツールが含まれており、加工のプログラミングおよび効率を改善できます。

1.4 Fusion 360 消費型サービスを有効にして実行するにはどうしたらよいですか？

Fusion 360 消費型サービスは、オートデスクのクラウド クレジットまたは Autodesk Enterprise Business Agreement のトークンを使用して有効化および実行できます。消費型サービスを利用するには、各ユーザーが Fusion 360 の有効なサブスクリプション メンバーである必要があります。

1.5 各消費型サービスの有効化と実行に必要なクラウド クレジット数は？

必要なクラウド クレジット数は、以下のように各消費型サービスによって異なります。

- **クラウド レンダリング**
レンダリングされたイメージ サイズの 1 メガピクセルあたり 1 クラウド クレジットが必要です。
- **シミュレーション クラウド解析**
シミュレーション クラウド解析の必要数は、スタディタイプによって異なります。
 - 線形静的 = 1 つの解析につき 5 クラウド クレジット
 - 固有値 = 1 つの解析につき 5 クラウド クレジット
 - 熱 = 1 つの解析につき 5 クラウド クレジット
 - 熱応力 = 1 つの解析につき 5 クラウド クレジット
 - 座屈 = 1 つの解析につき 15 クラウド クレジット
 - 非線形静的 = 1 つの解析につき 25 クラウド クレジット
 - イベントシミュレーション = 現在テクニカル プレビュー中
 - シェイプ最適化 = 1 つの解析につき 5 クラウド クレジット
- **ジェネレーティブ デザイン**
ジェネレーティブ デザインは、ジェネレーティブ スタディの生成ごとに 25 クラウド クレジットが必要です。また、生成したデザイン結果 1 つにつき、その使用およびダウンロードに 100 クラウド クレジットが必要です。
- **Manufacturing Extension (現在テクニカルプレビュー中、2019 年上半期より提供予定)**
Manufacturing Extension はアクセス ベースで、1 ユーザーあたり 1 ヶ月で 125 クラウド クレジットがかかります。その期間中は、拡張機能を何度でも使用できます。

2. オートデスクのクラウド クレジット

2.1 オートデスクのクラウド クレジットとは？

オートデスクのクラウド クレジットとは、オートデスク製品で使用可能な消費型のサービスを有効化して実行するための通貨単位です。

2.2 クラウド クレジットにはどんなタイプがありますか？

クラウド クレジットは、次の 2 つに分類されます。

- **個別**
個別クラウド クレジットは 1 ユーザーのみに割り当てられ、他のユーザーが使用したり、他のユーザーに譲渡することはできません。
- **共有**
共有クラウド クレジットは契約単位で割り当てられ、その契約に関連付けられた複数のユーザーで共有できます。

2.3 クラウド クレジットのタイプによって、どのような違いがありますか？

クラウド クレジットには複数のタイプがあり、以下のように属性が異なります。

タイプ	分類	購入の可否	説明
クラウド クレジット - 共有	共有	購入可能	購入可能なクラウド クレジット: 契約に割り当てられた複数のユーザーと共有できる
クラウド クレジット - 個別	個別	購入可能	購入可能なクラウド クレジット: 特定のユーザーに割り当てられ、購入される
クラウド クレジット - スターター	個別	購入不可	サブスクリプションを初めて購入した 1 人のユーザーに 1 回限り付与されるクラウド クレジット
クラウド クレジット - 体験版	個別	購入不可	製品の 30 日間無償体験版の期間に限り使用できるクラウドクレジット

2.4 トークンとクラウド クレジットの違いは何ですか？

トークンは、Autodesk Enterprise Business Agreement の契約内で使用されます。Fusion 360 から使用可能な消費型サービスを有効化および実行するための通貨単位として、クラウド クレジットと同様に取り扱えます。

2.5 使用可能なクラウド クレジットの数はどこで確認できますか？

契約管理者が manage.autodesk.com で Autodesk Account にサインインして、左側のナビゲーション メニューで [レポート] > [クラウド サービスの使用状況] をクリックします。次に、ビュー タイプとして [すべての使用状況] を選択すると、個別および共有クラウド クレジットの一覧が表示されます。

2.6 クラウド クレジットはどのように販売されますか？

オートデスクのクラウド クレジットは、1 クラウド クレジットあたりの価格が大幅に安くなるボリューム パックで販売されます。これらのパックで提供されるのは、契約に関連付けられた複数のユーザーで使用可能な共有クラウド クレジットです。現在購入可能なパックは以下のとおりです。

- クラウド クレジット 100 パック
- クラウド クレジット 5,000 パック
- クラウド クレジット 10,000 パック
- クラウド クレジット 25,000 パック
- クラウド クレジット 50,000 パック

2.7 ユーザー自身が Autodesk 公式ストアからクラウド クレジットを購入することは可能ですか？

契約管理者は manage.autodesk.com で Autodesk Account にサインインして、追加の共有クラウド クレジットを 100 ごとに 16,000 円 (税抜) で購入できます。そのためには、左側のナビゲーションで [レポート] > [クラウド サービスの使用状況] をクリックし、共有クラウド クレジットの契約の横の [クラウド クレジットを取得] ボタンをクリックします。

2.8 クラウド クレジットの有効期限は？

購入されたクラウド クレジットの有効期限は、購入日から 1 年後または契約満了時のうち、いずれか早い方です。

3. Fusion 360 サブスクリプション サービス

3.1 現在利用可能な Fusion 360 サブスクリプション サービスは？

Autodesk Fusion 360 では、1 ヶ月、1 年、複数年契約のサブスクリプションを現在利用できます。1 年間のサブスクリプションの価格は、ユーザーあたり 56,000 円（税抜）です。利用可能なサブスクリプションの詳細については、[こちら](#)を参照してください。

3.2 標準の Fusion 360 のサブスクリプション サービスに含まれるクラウド クレジット数は？

新しい 1 年間の Fusion 360 サブスクリプションでは、新規サブスクリプションメンバーに一度に限り 100 共有クラウド クレジットが付与されます。1 ヶ月単位のサブスクリプションでは 10 共有クラウド クレジットが付与されます。

3.3 Fusion 360 の新しいクラウド クレジット付きサブスクリプションについて詳しく教えてください。

2019 年 5 月 7 日より、2 つの新しい Fusion 360 サブスクリプション サービス（年間および 3 年契約）が販売されます。これらの新規サブスクリプションには、共有クラウド クレジットが含まれており、利用可能などの消費型サービスにも使用できます。5 サブスクリプション パックサービスでは、1 ライセンスのサブスクリプションで 5 人のユーザーが Fusion 360 にアクセスできます。

名称	サブスクリプション期間	含まれるクラウド クレジットの合計数	希望小売価格 (税抜)
Autodesk Fusion 360 – クラウド クレジット付き	年間	1,500	305,000 円
Autodesk Fusion 360 – クラウド クレジット付き – 5 サブスクリプション パック	年間	7,500	1,371,000 円

3.4 Fusion 360 の新しいクラウド クレジット付きサブスクリプションは Autodesk 公式ストアで購入できますか？

いいえ、Autodesk 公式ストアでは購入できません。認定販売パートナーから、またはオートデスクから直接購入する必要があります。

3.5 追加のクラウド クレジットを購入して、既存のサブスクリプション契約で利用することはできますか？

はい、サブスクリプションの契約期間中、いつでも追加のクラウド クレジット パックを購入できます。購入したクラウド クレジット パックはその時点の残高に追加されます。

4. そのほかのよくある質問

4.1 契約管理者は特定のユーザーにクラウド クレジットを割り当てられますか？

契約に含まれるすべてのクラウド クレジットは、その契約に割り当てられたユーザーが使用できます。現在のところ、共有クラウド クレジットを特定のユーザーに割り当てることはできません。個別クラウド クレジットは、それを購入したユーザーのみが利用できます。

4.2 契約管理者は、どのユーザーがクラウド クレジットを消費しているか確認できますか？

はい、Autodesk Account には「クラウド サービスのユーザ別使用状況」というレポートがあり、契約に割り当てられた各ユーザーが消費したクラウド クレジットの数を確認できます。